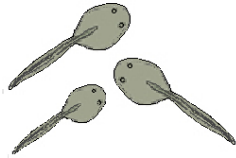


小学校4年生		*単元確認テスト①*		季節と生き物	
組	番	名前		/10点	

1 下の図は校庭や野原で見られる動物や植物のようすを調べたものです。春のようすを表すものを2つえらび記号を書きましょう。(1点×2)

ア (おたまじゃくし)



イ (バッタ)



ウ (サクラ)



エ (イネ)



と

2 次の文は気温のはかり方について書いたものです。 にあてはまる言葉や数を  の中からえらび、記号を書きましょう。(1点×4)

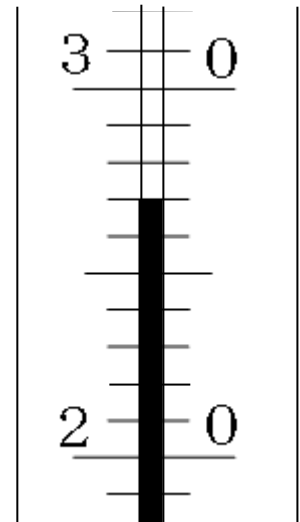
(1) 温度計のめもりは、目の高さをえきの先の目もりに合わせて

から見てはかる。

(2) 地面から  くらいの高さではかる。

(3) 風通しの  ところではかる。

(4) 右の図のぼう温度計は  °C をしめしている。



- |                       |        |      |
|-----------------------|--------|------|
| ア 1 m 20cm ~ 1 m 50cm | イ ななめ  | ウ 27 |
| エ 2 m ~ 3 m           | オ よい   | カ 12 |
| キ わるい                 | ク 真横   | ケ 26 |
|                       | コ すずしい |      |

3 冬から春になると、生きもののようすはどのように変わりますか。次の文の  にあてはまる言葉を書きましょう。(1点×4)

(1) ツバメは、やねの下などに  をつくり たまごをうみます。

(2) カマキリのたまごから  がうまれます。

(3) 春になると冬とくらべて、校庭や野原で見ることができるこん虫や鳥の数が、  ます。

これは気温がだんだん  なってきたからです。

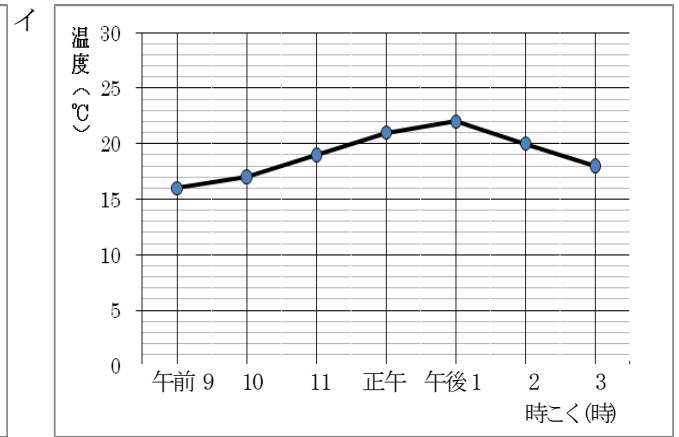
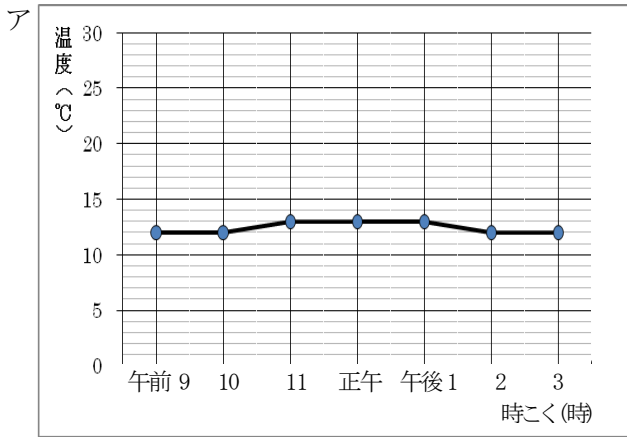


小学校4年生		*単元確認テスト②*		1日の気温と天気	
組	番	名前		/10点	

1 [ ]の中のどちらか正しい言葉を1つえらんで○でかこみましょう。(2点)

晴れた日の昼ごろの気温は、朝や夕方にくらべると [ 低い ・ 高い ]。

2 晴れの日と雨の日に1日の気温の変化を調べました。アとイは、調べた結果を折れ線グラフに表したものです。次の問いに答えましょう。(2点×2)



(1) 雨の日のグラフは、アとイのどちらですか。

(2) そのように考えたわけを書きましょう。

3 1日の気温の変化について、次のウ、エのように調べました。正しく調べるために、直せばよいところはどこですか。(2点×2)

ウ

時	気温	調べた場所
午前10時	17°C	校庭のサクラの木の下
午前11時	19°C	校庭のサクラの木の下
正午	21°C	校庭のサクラの木の下
午後1時	22°C	校庭のサクラの木の下
午後2時	20°C	教室前ろう下

ウの調べ方で直せばよいところ

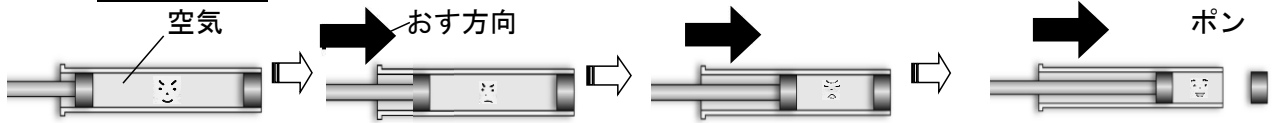
エ

時	気温	調べた場所
午前10時	17°C	中庭
午前10時30分	18°C	中庭
正午	20°C	中庭
午後1時	21°C	中庭
午後2時	20°C	中庭

エの調べ方で直せばよいところ

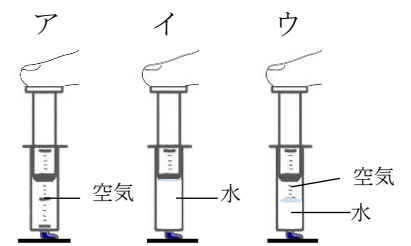
小学校4年生		*単元確認テスト③*		空気と水	
組	番	名	前	/10点	

1 下の図のように、つつの中に空気をとじこめて、空気でっぼうをつくり玉を飛ばしてみました。次の文の  にあてはまる言葉を書きましょう。(1点×3)



- ① 空気でっぼうのつつをおすと、中にある空気の  は小さくなり、空気は、ちぢむ。
- ② ちぢんだ空気は、ちぢめばちぢむほど元にもどろうとする力が  なる。
- ③ 空気でっぼうの前の玉は、おしちぢめられた  の元にもどろうとする力で飛び出す。

2 注ししゃ器に空気や水をとじこめてア～ウの3種類しゅるいの注ししゃ器を準備じゅんびし、ピストンを同じ力でおしました。次の文の  にあてはまる言葉や記号を書きましょう。(1点×3)



- ① 注ししゃ器のピストンをおすときには、つつをしっかり手でささえ、 からゆっくりとおす。
- ② ア～ウの注ししゃ器のピストンをおしてもほとんど動かないのは、 の注ししゃ器であった。
- ③ ア～ウの注ししゃ器のピストンをおすと、一番おしちぢめられるのは、 の注ししゃ器であった。

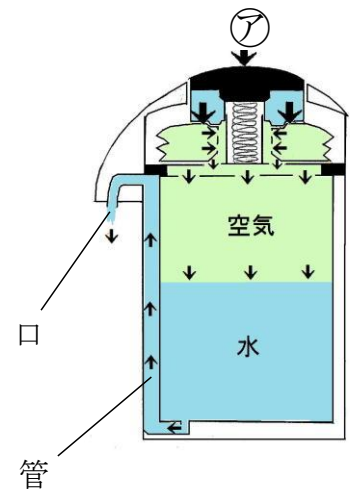
3 図のエアーポットのしくみについて、文で表しました。①  ②  にあてはまる言葉を ( ) に書きましょう。(2点×2)

㉞をおすと、エアーポットの中の ①  はおしちぢめられる。

①  は元にもどろうとして、中の ②  をおす。

②  はちぢむことができないので、①  におされて、管かみを通して口から出てくる。

①  ... ( )      ②  ... ( )

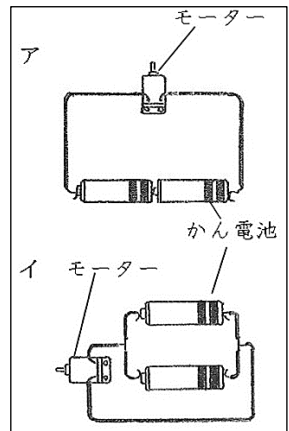


小学校4年生		*単元確認テスト④*		電気のはたらき	
組	番	名前		/10点	

1 電気のはたらきについて、次の問いに答えましょう。(1点×6)

(1) 次の文の  にあてはまる言葉を書きましょう。

電気は、かん電池の  からモーターを通過して、  
かん電池の  に流れています。この電気の流れを  
 といい、その通り道を  といいます。



(2) 右の図のア、イのようなかん電池のつなぎ方をそれぞれなんといいますか。

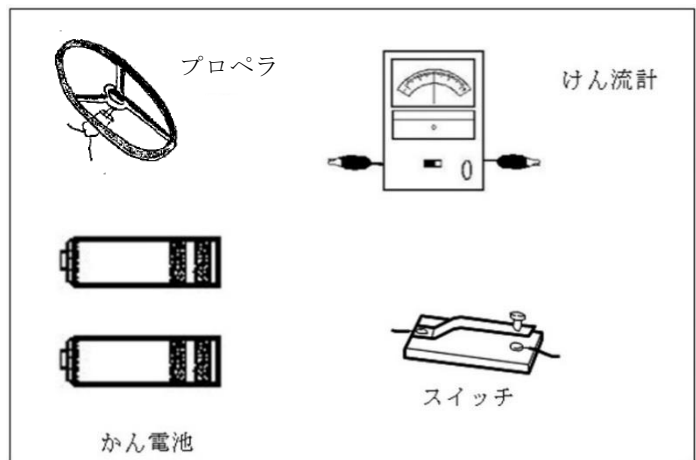
ア

イ

2 右の図のように、プロペラ、かん電池

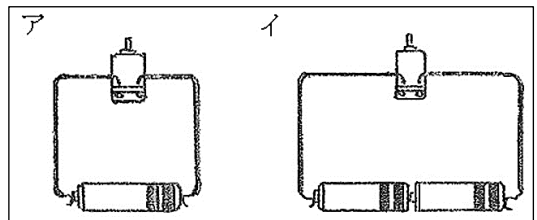
2こ、けん流計、スイッチがあります。

これらを使って、かん電池が1このときよりプロペラが速く回るようにし、その時の電流の大きさを調べられるように線でつなぎましょう。(2点)



3 かん電池2こを右の図のイのように

つなぎます。モーターの回る向きや、はやさは、アのとくらべて、どうなりますか。(1点×2)



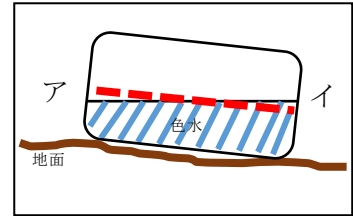
モーターの回る向きは

モーターの回るはやさは

小学校4年生		* 単元確認テスト⑤*		雨水の流れ	
組	番	名前		/10点	

1 雨水が流れていたところの地面のかたむきや、水たまりとそのまわりの地面のかたむきを調べます。次の問いに答えましょう。

- (1) 右の図のように、色水を入れたプラスチックの入れ物を置いて地面のかたむきを調べました（点線は、プラスチックの入れ物を平らな場所に置いた時の水面に合わせて引いた線です）。地面は、ア、イのどちらにかたむいていると考えられますか。記号で答えましょう。（1点）




- (2) (1)の結果から、雨水はア、イのどちらの方に流れていたといえますか。（1点）

- (3) 雨水が流れて、それが集まって水たまりができたことから、水たまりはまわりの地面に比べて、高いところにできますか。低いところにできますか。（1点）

2 右の図のような実験そう置を用意し、土やすなのつぶの大きさによって、水のしみこみ方にちがいがあるのかを調べました。次の問いに答えましょう。

- (1) 土やすなを入れる植木ばちにガーゼをしくのは、何のためか説明しましょう。（1点）




- (2) 2つの植木ばちにそれぞれ「校庭の土」と「すな場のすな」を入れ、同じ量の水を同時にそそいで、水がしみこむ様子や水が全てしみこむまでの時間を調べました。その結果を表にまとめると、右表のようになりました。

調べる物	つぶの大きさ	水がしみこむまでの時間
校庭の土	とても小さい	5分30秒
すな場のすな	大きい	3分10秒

- ① 水のしみこみ方は、土のつぶの大きい方が速いといえますか、おそいといえますか。（2点）

- ② 通りぬけた水の量は、校庭の土とすな場のすなでは、どちらの方が多いでしょう。（2点）

2 <sup>ちかてつ</sup>地下鉄の駅の入り口が、階段などでまわりの地面より高くなっているところがあります。そのわけを、説明しましょう。（2点）

小学校4年生		*単元確認テスト⑥*		暑い季節 <sup>きせつ</sup>
組	番	名前		/10点

1 下のア～エの中で、夏に見られる生きもののようすには○、そうでないものには×を書きましょう。(1点×4)

ア ( )  
足がはえ、陸に上がったアマガエル



イ ( )  
すずくりをするツバメ



ウ ( )  
花のみつをすうアゲハチョウ



エ ( )  
成虫になったナナホシテントウ



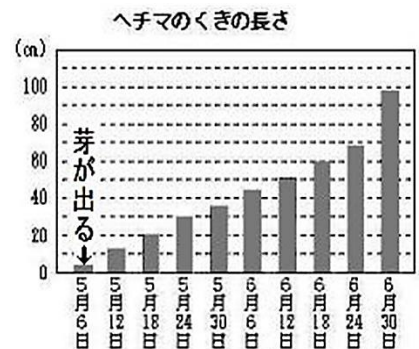
2 春から夏にかけて、生きもののようすはどのように変わりましたか。正しいものを1つ選び、( )の中に○を書きましょう。(2点)

- ( ) 生きものの数が少なくなった。
- ( ) 生きもののようすは、ほとんど変わらない。
- ( ) 生きものがさかんに活動するようになった。

3 ヘチマのくきの長さで5、6月の気温の変わり方を調べ、グラフにまとめました。次の問いに答えましょう。(2点×2)

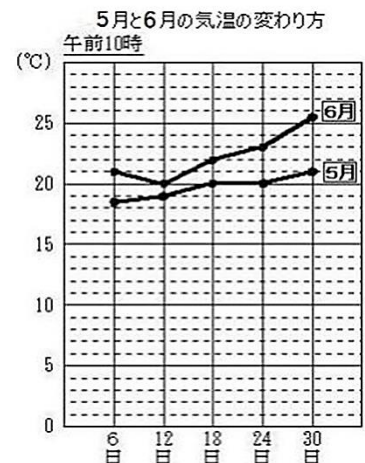
(1) ヘチマのくきがよくのびているのは、ア～エのどのころですか。記号で答えましょう。

- ア 6月 6日～12日
- イ 6月 12日～18日
- ウ 6月 18日～24日
- エ 6月 24日～30日



(2) 5月にくらべ6月にヘチマがよく成長  しているのはどうして

ですか。気温の変わり方のグラフから分かることを書きましよう。



小学校4年生		*単元確認テスト⑦*		夏の星	
組	番	名前		/10点	

1 次の ( ) の中の言葉のうち、正しいものを○でかこみましょう。(1点×2)

(1) 星の明るさは、( ぜんぶ同じ 、 星によってちがう )。

(2) 星の色は、( ぜんぶ同じ 、 星によってちがう )。

2 次の ( ) にあてはまる言葉を書きましょう。(1点×4)

(1) 星をいくつかのまとまりに分け、いろいろなもののすがたなどに見立てて、名前をつけたものを ( ) という。

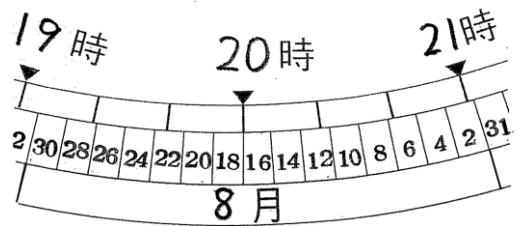
(2) ( )、( )、アルタイルの3つの星を結んでできる形を夏の大三角という。

(3) 北の空には、北極星やカシオペアぎのほかに、7つの星からなる ( ) が見られる。

3 星ざ早見の使いかたについて、次の ( ) にあてはまる記号を1つえらんで書きましょう。(1点×2)

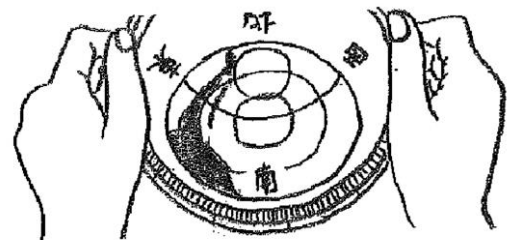
(1) 星ざ早見を右の図のように合わせたときは、8月17日 ( ) に、どんな星や星ざが見られるかが分かる。

- ア 午後7時
- イ 午後8時
- ウ 午後9時



(2) 星ざ早見を右の図のようにもったときは、( ) の空に、どんな星や星ざが見られるかが分かる。

- ア 東
- イ 西
- ウ 南
- エ 北



4 次のア～エのうち、正しいものを2つえらび、記号を書きましょう。(1点×2)

ア 星は夜だけ光っている。

イ 星は昼も光っているが、太陽の光が強くて見えない。

ウ 星は雨の日には光っていない。

エ 星は雨の日にも光っているが、雨雲にかくれて見えない。

--	--